

第 21 回自然公園研究会 開催のご案内

テーマ：オーバーツーリズム再考 ～集中と分散をコントロールし、快適性と賑わいを確保する～

人類を脅かす感染症の世界的大流行を経て人の移動が再拡大し、国内外の観光地で特定の地域に観光客が集中するオーバーツーリズムの問題が起きています。中でも、国内では京都、鎌倉、白川郷等でこの問題が取り沙汰され、これまで想定しえなかった問題、対策の難しい問題が発生しており、野趣あふれる自然、貴重な自然、脆弱な自然資源を持つ自然公園が、かつての過剰利用問題とともにこのオーバーツーリズムと向き合っていくことになりそうです。人の集中は渋滞、長い待ち行列等を引き起こす負の側面を持ちますが、うまくコントロールすれば賑わいの創出を図ることができ、今回の自然公園研究会ではオーバーツーリズムを再考し、集中と分散をコントロールし快適性と賑わいを確保する方法について議論します。

日時： 2025 年 10 月 28 日（火） 14:30～17:30

会場： 日本交通公社ビル (<https://www.jtb.or.jp/about/map/>) ※会場定員 30 名（申込先着順）
※別途、オンライン配信（視聴のみ・事前登録制）を予定しています。

プログラム：第 21 回「オーバーツーリズム再考」

- | | |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14:30 | 開会 |
| 14:35～14:45
【10分】 | 趣旨説明：オーバーツーリズムを再考する視点と論点
山本 清龍 氏（東京大学 農学生命科学研究科） |
| 14:45～15:05
【20分】 | 発表1：イタリアの市民生活と観光の共存
佐野 浩祥 氏（東洋大学 国際観光学部） |
| 15:05～15:25
【20分】 | 発表2：予約制導入による鍋ヶ滝公園の運営管理
新家 龍太郎 氏（熊本県小国町役場産業課） |
| 15:25～15:45
【20分】 | 発表3：自然公園における分散化と利用の規制の手法について
速水 香奈 氏（環境省 国立公園課） |
| 15:45～16:00 | 休憩 |
| 16:00～17:30
【90分】 | ディスカッション：
コーディネーター：山本 清龍 氏（東京大学 農学生命科学研究科）
パネリスト：佐野 浩祥 氏（東洋大学 国際観光学部）
：新家 龍太郎 氏（熊本県小国町役場産業課）
：速水 香奈 氏（環境省 国立公園課） |
| 17:30 | 閉会 |

申込・お問い合わせ：

- ・参加を希望される方は、以下フォームからお申込ください。（申し込み〆切：開催日 1 週間前 17 時）
フォーム URL <https://forms.gle/8QYaKcAyfKSNiyzB6>
- ・現地会場での参加受付は先着順になりますので、恐れ入りますがお早めにお申し込みください。
- ・現地会場での参加をご希望の方で、お申込み時点で定員に達していた場合は、その旨を事務局よりご連絡させていただきます。



公益財団法人日本交通公社 自然公園研究会事務局 メール：shizen@jtb.or.jp TEL：03-5770-8440

*お預かりした個人情報、本研究会のご案内等、当財団が定める個人情報の利用目的の範囲内で利用させていただきます。
当財団の個人情報の取扱いについての詳細はホームページ (<http://www.jtb.or.jp/>) をご覧ください